

## 5 調査広聴

### (1) 市民意識調査（郵送法）

市民意識調査は、経年的に市政全般にわたる市民の満足度や要望を把握し、その調査結果を今後の施策や事業の推進に反映することを目的として、平成19年度から実施しています。

調査は、市内在住者のほか、市内の事業所に協力をいただき、市外から市内へ通勤する市内在勤者についても対象として行っています。

#### ① 在住者意識調査

- ・調査地域：さいたま市全域
- ・調査対象：さいたま市在住の満18歳以上の男女
- ・調査対象数：5,000人
- ・抽出法：住民基本台帳に基づく層化多段無作為抽出
- ・調査方法：郵送配布・郵送回収法
- ・調査項目：地域での生活、地域のイメージ、さいたま市のイメージ、市政との関わり、市政、今の地域を選んだ理由

#### ② 在勤者意識調査

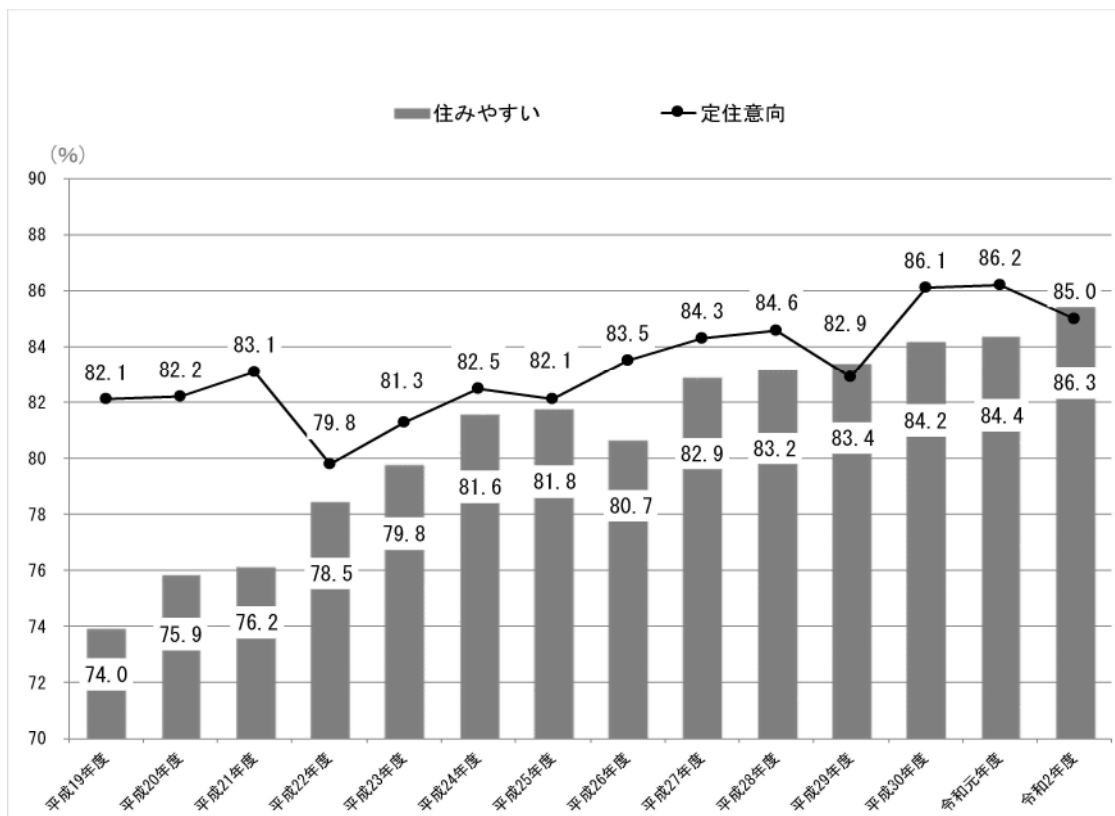
- ・調査地域：さいたま市全域の事業所
- ・調査対象：さいたま市外からさいたま市内の事業所へ通勤する満18歳以上の男女
- ・調査対象数：2,000人
- ・抽出法：市内の事業所を無作為に抽出し、事業所を通じて個人への調査を依頼
- ・調査方法：郵送配布・郵送回収法
- ・調査項目：さいたま市のイメージ、市内での活動

③ 年度別実績

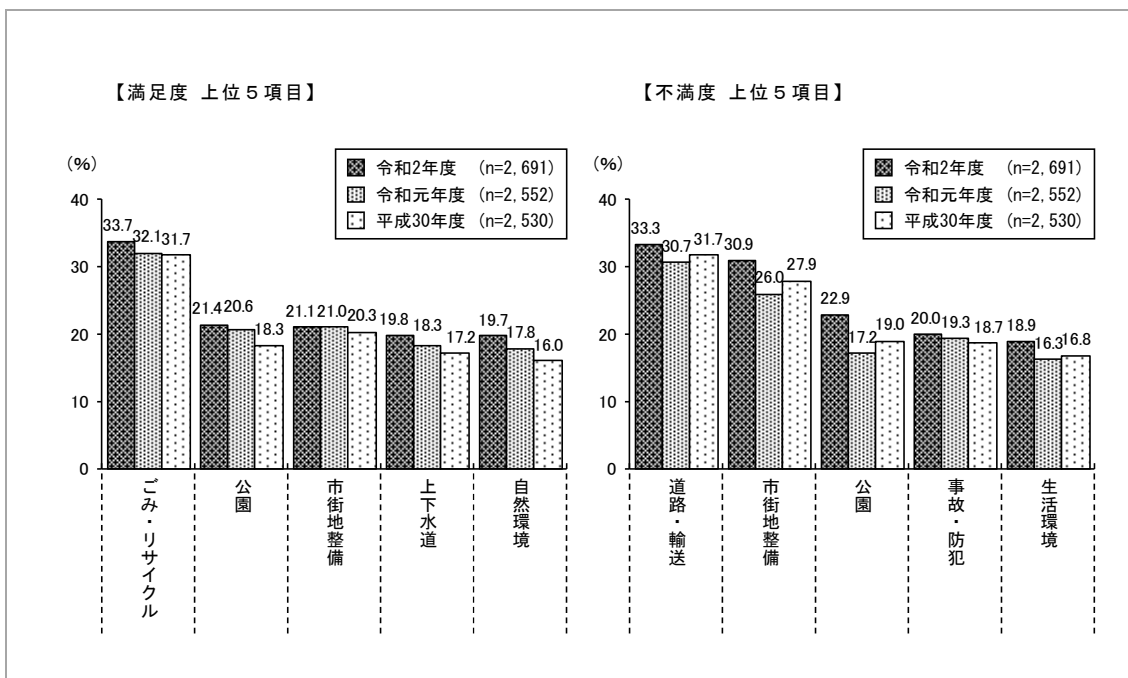
調査種類	対象者数	年度	回答者数	回答率
在住者調査	5,000 人	平成 28 年度	2,417 人	48.3 %
		平成 29 年度	2,508 人	50.2 %
		平成 30 年度	2,530 人	50.6 %
		令和元年度	2,552 人	51.0 %
		令和 2 年度	2,691 人	53.8 %
在勤者調査	2,000 人	平成 28 年度	629 人	31.5 %
		平成 29 年度	709 人	35.5 %
		平成 30 年度	672 人	33.6 %
		令和元年度	587 人	29.4 %
		令和 2 年度	634 人	31.7 %

④ 主な結果

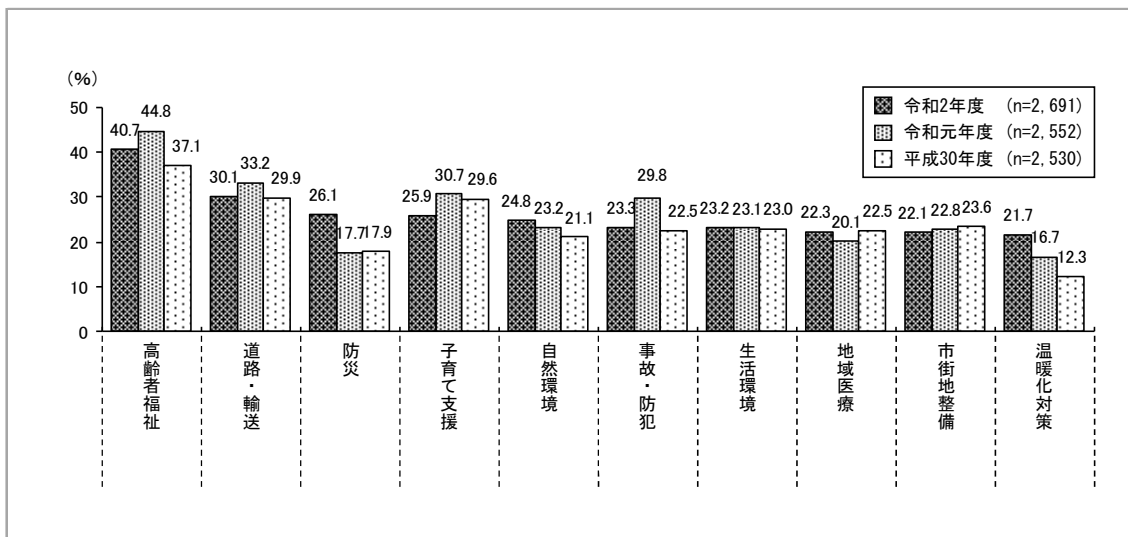
「住みやすさ」と「定住意向」の推移



## 施策への満足度・不満度の推移（上位5項目）



## 今後特に重視してほしいと思う施策の推移（上位10項目）



## 在住者意識調査自由意見

在住者意識調査の回答者に、本市に対する意見や要望を自由記述形式で聞いたところ、834人から1,439件の意見等が寄せられました。

大項目	中項目	件数
1 環境 (93件)	(1) 地球温暖化対策	1
	(2) 地域環境（騒音・振動、大気汚染・水質保全など）	11
	(3) ごみの適正処理とリサイクル	25
	(4) 自然環境（緑、河川など）	20
	(5) 都市景観とまちの美化	33
	(6) その他の環境	3
2 健康・福祉 (244件)	(1) 子育て支援	57
	(2) 高齢者福祉	26
	(3) 障害者福祉	10
	(4) 健康づくりと地域医療機関	117
	(5) 公共施設、交通関連施設などのバリアフリー	13
	(6) 食品・生活環境の安全	13
	(7) その他の健康・福祉	8
3 教育・文化 ・スポーツ (93件)	(1) 学校教育	34
	(2) 青少年の育成	0
	(3) 生涯学習や施設（図書館、公民館など）	15
	(4) スポーツ・レクリエーションの振興や施設	31
	(5) 地域文化の保全や芸術・文化活動	13
4 都市基盤・交通 (367件)	(1) 公園の整備や緑化	51
	(2) ICT（情報通信技術）活用支援や行政サービスの電子化	36
	(3) 市街地の整備	48
	(4) 道路の整備や鉄道・バス輸送	232
5 産業・経済 (54件)	(1) 商店街や中小企業、農業	17
	(2) 新しい産業や高度な業務機能の集積	4
	(3) 観光・シティセールス	26
	(4) 産業人材育成、就労支援や環境整備	7
6 安全・生活基盤 (168件)	(1) 防災、治水対策や消防体制	59
	(2) 交通事故と防犯	79
	(3) 飲料水の供給や下水道の整備、住宅の整備	30
7 交流・ コミュニティ (25件)	(1) 人権、男女共同参画社会	4
	(2) 市民活動やコミュニティ活動	12
	(3) 国際化、恒久平和	9

大項目	中項目	件数
8 その他・総合 (395件)	(1) 総合（政策、制度など）	286
	(2) 総合（職員、組織など）	78
	(3) 市民意識調査	18
	(4) その他	13
合 計		1,439

## 在勤者意識調査自由意見

在勤者意識調査の回答者に、本市に対する意見や要望を自由記述形式で聞いたところ、98人から162件の意見等が寄せられました。

大項目	中項目	件数
1 環境 (6件)	(1) 地球温暖化対策	0
	(2) 地域環境（騒音・振動、大気汚染・水質保全など）	0
	(3) ごみの適正処理とリサイクル	1
	(4) 自然環境（緑、河川など）	2
	(5) 都市景観とまちの美化	3
	(6) その他の環境	0
2 健康・福祉 (12件)	(1) 子育て支援	1
	(2) 高齢者福祉	3
	(3) 障害者福祉	0
	(4) 健康づくりと地域医療機関	6
	(5) 公共施設、交通関連施設などのバリアフリー	0
	(6) 食品・生活環境の安全	0
	(7) その他の健康・福祉	2
3 教育・文化 ・スポーツ (7件)	(1) 学校教育	3
	(2) 青少年の育成	0
	(3) 生涯学習や施設（図書館、公民館など）	0
	(4) スポーツ・レクリエーションの振興や施設	3
	(5) 地域文化の保全や芸術・文化活動	1
4 都市基盤・交通 (64件)	(1) 公園の整備や緑化	4
	(2) ICT（情報通信技術）活用支援や行政サービスの電子化	0
	(3) 市街地の整備	10
	(4) 道路の整備や鉄道・バス輸送	50
5 産業・経済 (14件)	(1) 商店街や中小企業、農業	4
	(2) 新しい産業や高度な業務機能の集積	0
	(3) 観光・シティセールス	10
	(4) 産業人材育成、就労支援や環境整備	0

大項目	中項目	件数
6 安全・生活基盤 ( 19 件)	(1) 防災、治水対策や消防体制	3
	(2) 交通事故と防犯	13
	(3) 飲料水の供給や下水道の整備、住宅の整備	3
7 交流・ コミュニティ ( 1 件)	(1) 人権、男女共同参画社会	0
	(2) 市民活動やコミュニティ活動	0
	(3) 国際化、恒久平和	1
8 その他・総合 ( 39 件)	(1) 総合（政策、制度など）	30
	(2) 総合（職員、組織など）	0
	(3) 市民意識調査	1
	(4) その他	8
合 計		162

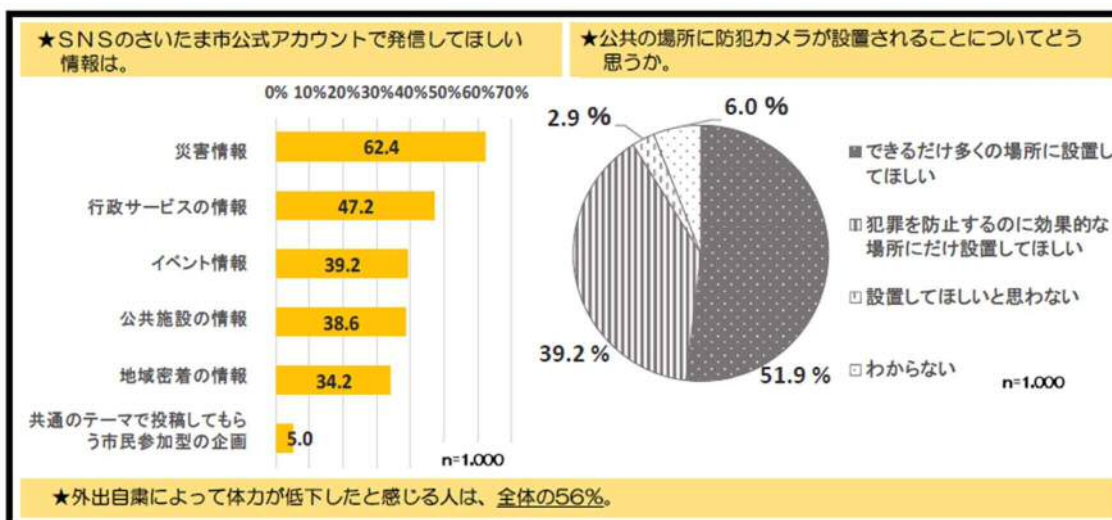
## (2) インターネット市民意識調査

インターネット市民意識調査は、郵送による市民意識調査と同様に、市民の満足度や要望を把握し、今後の施策や事業の推進に反映することを目的としており、市内の調査希望に応じて、タイムリーな事柄についての調査を平成23年度から実施しています。

- ・調査対象：さいたま市在住の満18歳以上の男女の計1,000人（委託業者に登録しているモニター）  
内訳として、18～29歳・30～39歳・40～49歳・50～59歳・60～69歳の男女各100人
- ・実施時期：令和2年度は、7月、8月、11月、2月で計4回実施

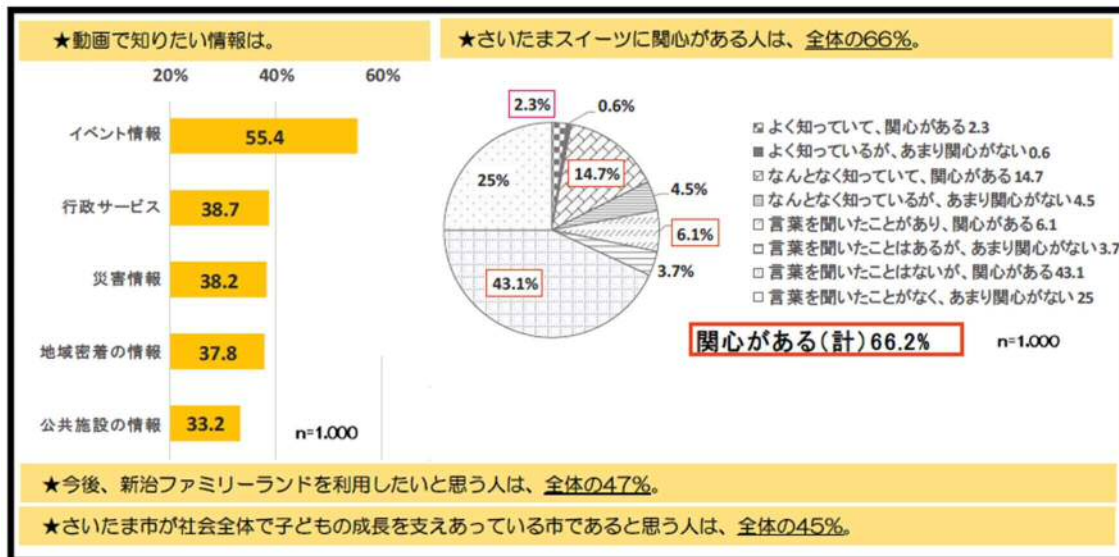
7月調査 計20問
SNS(広報課)、さいたま市の緑(みどり推進課)、防災展示ホール(予防課)、防犯カメラ(市民生活安全課)、外出自粛による健康への影響(健康増進課)
実施 7/3～7/6
結果 8月28日 インターネット上で公表

### 調査結果(抜粋)



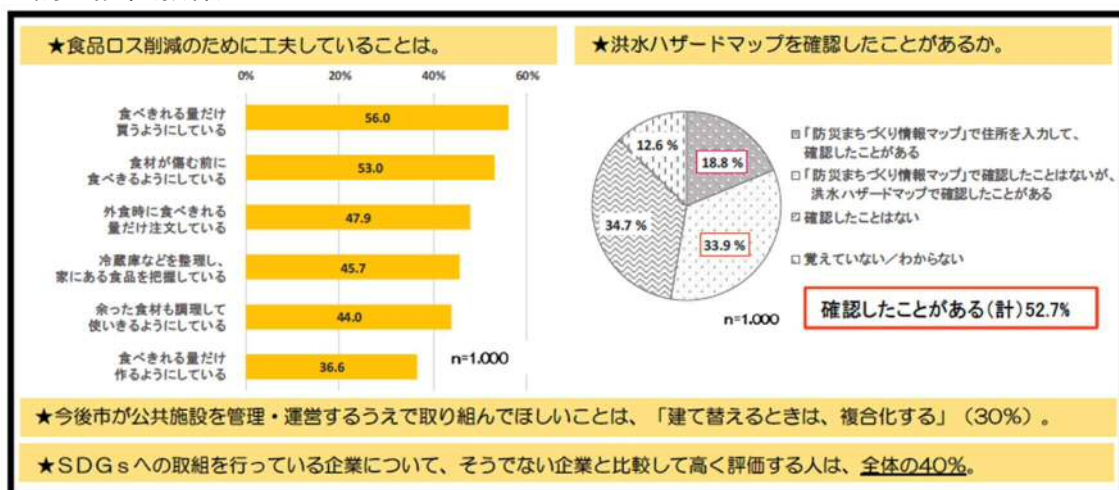
8月調査 計 20 問
さいたまスイーツ(商業振興課)、動画の広報(広報課)、市議会の広報(議会局秘書課)、新治ファミリーランド(市民生活安全課)、さいたまキッズなCity大会宣言(子育て支援政策課)、成年年齢引き下げに伴う契約(消費生活総合センター)
実施 8/7~8/13
結果 9月30日 インターネット上で公表

調査結果(抜粋)



11月調査 計 20 問
食生活(健康増進課)、食品ロス(資源循環政策課)、公民館の利用(生涯学習総合センター)、公共施設マネジメント(資産経営課)、風水害時の避難方法等(防災課)、SDGsに取り組む企業(経済政策課)
実施 11/6~11/10
結果 12月25日 インターネット上で公表

調査結果(抜粋)





2月調査 計 20 問
さいたま市への愛着(シティセールス推進課)、市ホームページの利便性(広報課)、城下町岩槻鷹狩り行列(岩槻区役所観光経済室)、セカンドライフ(高齢福祉課)、119救急ガイド・さいたま市救急受診ガイド(救急課)、配偶者等からの暴力(DV)(人権政策・男女共同参画課)、SDGs(都市経営戦略部)
実施 2/5~2/8
結果 3月26日 インターネット上で公表

調査結果(抜粋)

